

新しい街路樹空間が生まれました！

～目白通り(西武池袋線交差付近)の充実植栽～

建設局を挙げて取り組んでいる街路樹の充実にあたって、第四建設事務所では街路樹を増やすとともに、見慣れた街路樹の景観を彩りのある緑豊かな空間として充実させることをコンセプトに事業を進めています。平成22年度は、練馬区中村北2丁目の、目白通りと交差する西武鉄道池袋線の鉄道立体事業により生まれた緑地と中央分離帯で充実植栽を行い、緑豊かな空間を創りました。

本緑地は、以前目白通りが鉄道をオーバーで越えていた時の道路斜面部で、鉄道が立体化し、道路が平面になったことで生み出されました。

従来は、ツツジが一面に埋め尽くされており単調なものでしたが、今回の事業で緑地内に園路を設け、その周囲にシダレザクラ・シャクナゲ等の花木や、観賞用リンゴ(アルプスオトメ)を植栽することにより、近所の方が花と実を楽しんだり、季節を感じたりできる散歩道を創りました。4月から5月にかけて、シダレザクラに始まり、次々と鮮やかに開花し、近所の方々が散歩に訪れるようになりました。つい先日も、引率された園児たちが楽しそうに通っている場面に出会いました。



施工前



施工後

ツツジ、シャクナゲの植栽と園路の整備

また、中央分離帯はコンクリートで被覆され、交差する鉄道の橋脚や高架橋により、殺風景なものでしたが、今回中央分離帯に土を入れ、トキワマンサク等花木の列植を行い、構造物の硬い印象を緑と花で和らげる工夫をしました。



施工前



施工後

中央分離帯へのトキワマンサクの列植

この空間に緑が根付き、花の小道をはじめとしてご近所に親しまれる緑地になることを願っています。